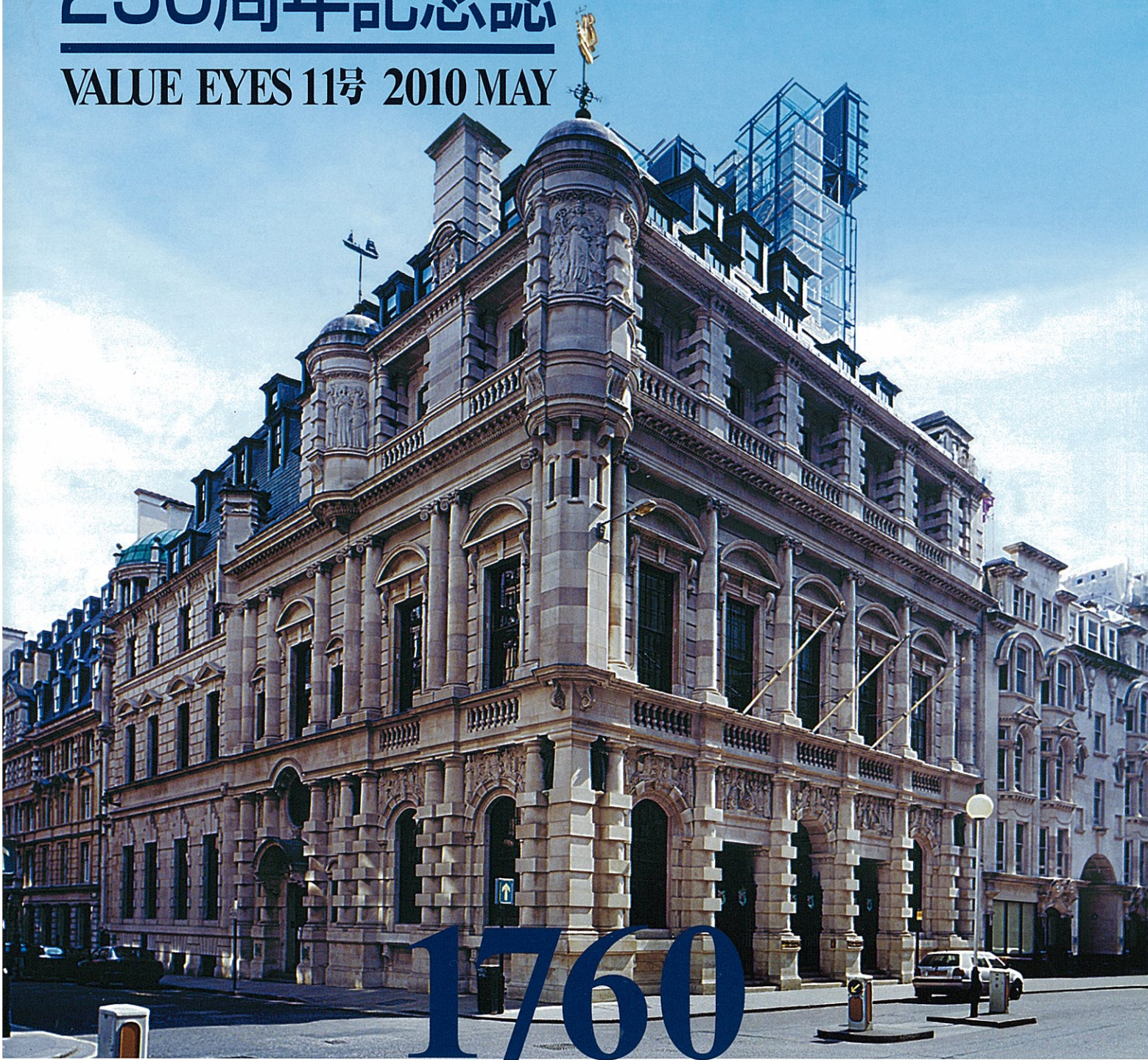


# ロイドグループ 250周年記念誌

VALUE EYES 11号 2010 MAY



P02 大特集:ロイドレジスターグループ250周年

**2010年、ロイドレジスターグループは、  
250周年を迎えました。**



P04 ロイドレジスターグループの歴史

P06 ロイドレジスターグループからのメッセージ

**世界的な経済危機を乗り越えるための第一ステップ。**  
ロイドレジスターグループ会長:デビッド・ムアハウス  
**試練のときにこそ、優位性を際立たせる戦略を。**  
ロイドレジスターグループ最高責任者:リチャード・サドラー

P10 お客様からのメッセージ

**マリン部門** 日本郵船株式会社 株式会社商船三井  
三菱重工業株式会社 株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド

**LRQA部門** 日本コカ・コーラ株式会社

**エネルギー部門** 東京電力株式会社

P16 この企業に聞く:住友ゴム工業株式会社

ISO14001/環境マネジメントシステム取得

P18 LRQA最前線:地球温暖化対策がもたらすビジネスチャンス。  
成長が見込まれる鉄道業界で勢いを増すIRIS。

P19 シネマ・ラーニング:第四回/アース





# 環境を守り、未来を運ぶ。 イノベーションで 海運業界の発展へ。

マリン部門

日本郵船株式会社

技術グループ 経営委員 グループ長

田中 康夫 氏 Yasuo Tanaka

## グローバル化と 総合物流化を推し進める

ここ十数年間、日本のメーカーのグローバル化と歩調を合わせるように、日本の海運業は海外進出を続けてきました。当社でも、海運業を中核に陸運、空運までを含めた総合物流化とともに、グローバル化を推し進め、欧米やアジアを軸に世界中でターミナルや倉庫を展開するようになってきました。今後、中国を筆頭とする国々の経済成長とともに、貿易量はさらに増加していくといわれ、仮に海上荷動き量が年率3%伸び続けるとすると、2050年には現在の海上荷動き量に比べて3.3倍にまで増加する見込みです。こうした世界の貿易量の伸びに合わせて、当社の輸送量もより大きなものとなっていくものと考えています。

一方で、当社が2年前に立ち上げた「環境特命プロジェクト」では、2050年までに世界の温室効果ガス排出量の半減に貢献する長期ビジョンを掲げています。海上荷動き量が2050年に現在の3.3倍になると、トンマイル当たりのCO<sub>2</sub>排出量は実に85%もの削減が必要となってくるのです。

## 独自の環境技術の開発で、 海運業界をリードしていく

こうした状況の中で、当社では環境を守っていくために、安全運航の徹底はもちろん、

積極的な環境対策として当社が保有するすべての船舶一隻一隻のCO<sub>2</sub>排出量を調査、検証して指標を出しています。さらに、太陽光発電装置の搭載、より少ない推進力で進む船体、燃料油消費を抑える機関構造、効率的な運航のサポートなど、CO<sub>2</sub>削減へ向けたイノベーションを推し進めています。IMO（国際海事機関）で環境問題がさかんにディスカッションされているように、海運業界全体を見通しても環境問題は最重要テーマ。今後、当社独自の技術開発で、海運業界のCO<sub>2</sub>削減をリードしていきたいと考えています。

また、一昨年のリーマンショック以降、当社でも投資の見直しなどの構造改革を行ってきましたが、それも目途が付いてきており、その先の戦略へ突き進もうとしています。その一環として、海底油田やガス田の開発が重要視される中で、海洋事業グループを立ち上げ、石油、石油製品、LPG、LNGなどの輸送にとどまらず、石油ガス会社の上流部門（油ガス田開発）の事業により積極的に参入していこうとしています。

## 国際的なルールで 業界を動かす船級協会は 貴重な仕組み

125年の歴史を持つ当社が

今後、持続的に成長を続けていくには、環境対策は不可欠と思われませんが、いろいろな省エネ、環境対策機器の開発が行われる中で、船舶設計における安全性や効率性、リスク分析などの分野で、250年にわたり船級協会をリードし続けてきた、ロイドレジスターにも大きな役割を期待しています。また、LRQAにも、ISO14001の審査を通して、環境経営をサポートしていただきたいですね。

さらに、当社がグローバル化を進める中で、やはりロイドレジスターのワールドワイドなネットワークは、大きな魅力。米国で運航している“クリスタル・クルーズ”などのラグジュアリーな大型客船や世界中で運航しているLNG船など、当社の数々の船舶もロイド船級船です。また、世界中に展開している拠点での技術者教育を進めていく上で、ロイドレジスターの教育研修サービスなども活用させていただきたいと考えています。

海運に国境はなく、国際的な枠組み、ルー

ルで業界を動かすIACS（国際船級協会連合）は貴重かつ価値のある仕組み。今後も、250年間培ってきた信頼、ノウハウでIACSをリードしているロイドレジスターのますますの発展を期待しています。



豪華客船「クリスタル・セレニティ」



豪華客船「クリスタル・シンフォニー」



LNG船「パシフィック・ユーロス」